授業科目等の概要

（医療専門課程言語聴覚科）平成３０年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医学総論 Introduction to Medicine	健康・疾病・障害をとりまく社会環境を理解し、医療従事者としてあるべき姿を学ぶ。	1年前期	15	1	○			○			○	
○			解剖学 Anatomy	人体各部の器官や組織の名称を学び、位置関係や構造を理解する。更に機能についての理解を深める。	1年前期	15	1	○			○		○		
○			生理学 Physiology	生体の機能とそのメカニズムについて理解する。解剖学の知識とも関連させながら理解を深める	1年前期	30	2	○			○			○	
○			病理学 Pathology	病気の原因、発生機序を探り、疾病による身体変化についての理解を深める。	1年前期	15	1	○			○			○	
○			内科学 Internal Medicine	幅広い内科疾患の成因、症状、診断、治療を系統的に理解する。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			小児科学 Pediatrics	小児期の成長・発達の基本を学び、更にリハビリテーションに関連する小児疾患について理解を深める。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			精神医学 Psychiatry	臨床現場で接することの多い精神疾患を理解し、対応を学ぶ。	1年前期	15	1	○			○			○	
○			ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学 Rehabilitation Medicine	リハビリテーションの理念と基本原則を理解し、更に医学的リハビリテーションの現状を学ぶ。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			耳鼻咽喉科学 Otorhinolaryngology	言語聴覚士に必要な耳鼻咽喉科・頭頸部外科の医学的知識、特に機能・疾患を中心に学ぶ。	1年後期	30	2	○			○			○	

○			臨床神経学 Clinical Neurology	代表的な神経疾患について、症状、診断、治療、機能予後の理解を深める。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			形成外科学 Plastic Surgery	形成外科が対象とする疾患、特に口唇、口蓋裂等の先天的奇形や外傷、変性を伴う身体疾患について理解する。	1年前期	15	1	○			○			○	
○			臨床歯科・ 口腔外科学 Clinical Dental Surgery	言語聴覚士として必要な顎口腔領域の発生、解剖、生理を理解し、そこに生じる炎症、腫瘍、外傷等の疾患を広く理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			呼吸･発声･発語系の 構造･機能･病態 Structure,Function, &Pathology of the Course of Respiration, Ocalization,and Utterance	呼吸・発声・発語系器官の構造・機能を学び、その障害および病態について理解を深める。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			聴覚系の構造・機能・病態 Auditory Structure, Function & Pathology	耳から聴覚中枢に至るまでの構造・機能を学び、その障害および病態について理解を深める。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			神経系の構造・機能・病態 Neurological Structure, Function, & Pathology	末梢から中枢に至るまでの神経解剖を学び、その障害および病態について理解を深める	1年前期	30	2	○			○			○	
○			心理測定法 Psychometrics	知覚や感覚などの心理的事象を測定し、統計学的に数量化し、処理する方法を学ぶ。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			臨床心理学Ⅰ Clinical Psychology Ⅰ	臨床現場で活かすことのできる臨床心理の理論や心理検査、心理法の基礎について学ぶ。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			臨床心理学Ⅱ Clinical Psychology Ⅱ	臨床心理学の理論および臨床心理学的なアプローチを学びながら、個々の事例や社会問題についての理解を深めていく。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			生涯発達心理学Ⅰ Developmental Psychology Ⅰ	子どもの言語・認知・運動等、様々な側面での発達を学ぶ。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			生涯発達心理学Ⅱ Developmental Psychology Ⅱ	児童期から老年期までの、知覚や認知、社会的役割の変化について学ぶ。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			学習認知心理学 Cognitive Psychology	知覚・記憶・学習などの認知活動について心理学的側面から学ぶ。	1年前期	30	2	○			○			○	

○			ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ法 Counseling Methods	カウンセリングの理論・技法を学び、演習を交えて理解を深める。	2年前期	15	1		○		○			○	
○			言語学Ⅰ LinguisticsⅠ	言語の持つ特性の基礎知識を理解する。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			言語学Ⅱ LinguisticsⅡ	臨床現場で応用できるように言語学の知識を更に深める。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			音声学Ⅰ PhonologyⅠ	調音器官、調音方法の基礎を学び、国際音声記号（IPA）表記ができるようにする。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			音声学Ⅱ PhonologyⅡ	自分で実際に国際音声記号（IPA）の音を発音できるようにする。また音声に関する様々な性質を深く理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			音響学 Acoustics	音と音声の物理的な側面と音声の生理的な側面を音響音声学的に理解する。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			聴覚心理学 Psychoacoutics	聴覚器官の構造・機能及び音響学の理解を踏まえた上で、聴覚の心理特性について学ぶ。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			言語発達学 Language Development	言語発達を説明する理論をもとに、前言語期から児童期までの言語能力、思考の発達等を学ぶ。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			社会保障制度 Social Security System	社会保障および社会福祉に対する考え方を学び、社会保障の体系・制度・法律について理解を深める。	2年前期	30	2	○			○		○	△	
○			ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ概論 Introduction to Rehabilitation	リハビリテーションの理念や歴史を学び、医学的、社会的、職業的、教育的リハビリテーションの概要について理解する。	2年前期	15	1	○			○		○		
○			医療･福祉･教育関係法規 Related Regulation	医事法規、保健・福祉・教育関係職種の法規を中心に学ぶ。	2年前期	15	1	○			○			○	
○			言語聴覚障害概論 Introduction to Pathology of Speech & Hearing	乳幼児から高齢者に至るまでの様々な言語聴覚障害を学び、言語聴覚士としての役割について理解する。	1年前期	30	2	○			○		○		

○			言語聴覚障害診断学Ⅰ （小児・成人） Diagnosis in Speech & Hearing in Children and AdultsⅠ	子どもから成人までのコミュニケーション障害の評価と診断、指導方針が立案できる基礎を学ぶ。	2年前期	45	3		○		○		○	△	
○			言語聴覚障害診断学Ⅱ （聴覚） Diagnosis in Speech & Hearing Ⅱ	聴覚障害児・者のコミュニケーション障害の評価と診断、指導方針が立案できる基礎を学ぶ。	2年前期	30	2	○			○		○		
○			画像診断学 Medical Radiography	頭部のCT.MRI及びRI,Angio画像の基礎及び胸部のレントゲン画像について学ぶ。	2年前期	15	1	○			○			○	
○			失語症Ⅰ AphasiologyⅠ	失語症の定義および言語症状を学ぶ。	1年前期	30	2	○			○		○		
○			失語症Ⅱ AphasiologyⅡ	失語症の古典的分類を中心に、演習を交えて症状を深く理解する。	1年後期	45	3		○		○		○		
○			失語症Ⅲ AphasiologyⅢ	様々な失語症のタイプ、症状に応じた訓練方法について演習を交えて学ぶ。	2年前期	30	2		○		○		○		
○			高次脳機能障害Ⅰ NeuroscienceⅠ	高次脳機能障害の定義および基本的知識について、失語症を除く失認、失行、記憶障害、前頭葉症状などの症状を学ぶ。	1年前期	30	2	○			○		○		
○			高次脳機能障害Ⅱ NeuroscienceⅡ	高次脳機能障害の多様な障害について、演習を交えながら知識を深め、評価や訓練方法について学ぶ。	2年前期	45	3		○		○		○		
○			言語発達障害概論 Introduction to Atypical Language Development	言語発達障害の分類、症状等の基礎を学ぶ。	1年前期	15	1	○			○			○	
○			言語発達障害Ⅰ （精神発達遅滞） Atypical Language Development Ⅰ(Mental Retardation)	精神発達遅滞に伴う障害を理解し、評価、訓練方法を学ぶ。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			言語発達障害Ⅱ （脳性麻痺） Atypical Language DevelopmentⅡ(Celebral Palsy)	脳性麻痺に伴う様々な障害を理解し、評価、訓練方法を学ぶ。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			言語発達障害Ⅲ（自閉症） Atypical Language DevelopmentⅢ (Autism)	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害など自閉症スペクトルを理解し、障害のある子どもに対する支援システムを学ぶ。	2年前期	30	2	○			○			○	

○			言語発達障害Ⅳ（学習障害） Atypical Langauge DevelopmentⅣ (Learning Disability)	学習障害の概要を理解し、学習障害のある子どもに対する支援システムについて学ぶ。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			言語発達障害治療学 Treatment in Atypical Language Development	言語発達障害の検査方法を中心に学ぶ	1年後期	30	2		○		○			○	
○			音声障害 Voice Disorders	音声（発声）障害の種類と検査法、手術や音声治療の手技について学ぶ。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			構音障害概論（機能性含む） Introduction to Articulation Disorders	構音のメカニズムの概要を理解し、小児にみられる機能性構音障害について、評価、訓練方法を学ぶ。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			構音障害（口蓋裂） Articulation Disorders (Cleft Palate)	器質的問題、特に口唇・口蓋裂を中心に構音障害を理解し、評価、訓練方法を学ぶ。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			構音障害（口腔中咽頭癌） Articulation Disorders (Oropharyngeal Cancer)	器質的問題、特に口腔中咽頭癌を中心に構音障害を理解し、評価、訓練方法を学ぶ。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			構音障害（運動性）Ⅰ DysarthriaⅠ	神経、筋の疾患の障害で生じる構音障害を理解し、評価できるように学ぶ。	1年後期	30	2	○			○		○		
○			構音障害（運動性）Ⅱ DysarthriaⅡ	神経、筋の疾患の障害で生じる構音障害の訓練方法について、演習を交えながら学ぶ。	2年前期	30	2		○		○		○		
○			嚥下障害概論 Introduction to Dysphagia	摂食・嚥下障害の臨床に必要な基礎知識を習得し、言語聴覚士としての役割と業務内容について理解する。	1年前期	30	2	○			○		○		
○			嚥下障害Ⅰ（治療学） DysphagiaⅠ (Therapeutics)	嚥下障害の検査方法を中心に演習を交えながら検査から訓練実施までの関わり方について学ぶ。	1年後期	45	3		○		○		○		
○			嚥下障害Ⅱ（小児・成人） DysphagiaⅡ (Children and Adults)	先天性疾患や脳卒中に伴う嚥下障害など小児・成人の嚥下障害の知識を習得し、評価・訓練方法を学ぶ。	2年前期	30	2		○		○		○	△	
○			吃音 Stuttering	小児や成人の吃音の症状を理解し、その対応を学ぶ。	2年前期	15	1	○			○			○	

○			聴覚障害概論 Introduction to Audiology	聴覚障害の分類、原因等、聴覚障害の基礎について学ぶ。	1年前期	30	2	○			○			○	
○			小児聴覚障害Ⅰ Pediatric AudiologyⅠ	小児期の聴覚障害の発見と鑑別とを中心に小児聴覚障害を正しく理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			小児聴覚障害Ⅱ Pediatric AudiologyⅡ	小児聴覚障害の評価、訓練、指導についての方法を学ぶ。	2年前期	30	2	○			○			○	
○			成人聴覚障害 （二重障害を含む） Hearing Impairment in Adults Including Deaf-Blind	高齢者の聴覚障害とその特徴を理解し、社会自立への援助方法を学ぶ。更に視覚聴覚二重障害について理解する。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			補聴器 Hearing Aid	補聴器の仕組みを理解し、フィッティングや調整の仕方に至る知識・技術を学ぶ。	2年前期	15	1	○			○			○	
○			人工内耳 Cochlear Implant	人工内耳の仕組みを理解し、その適応、更にマッピングや訓練について学ぶ。	2年前期	15	1	○			○			○	
○			聴力検査 Hearing Assessment	演習を中心に実際の聴覚機能の検査方法、その理論、結果の解釈について学ぶ。	1年後期	30	2		○		○		○		
○			臨床実習Ⅰ Clinical PracticeⅠ	臨床現場における患者対応のあり方、反応の記録、検査・評価の実際を学ぶ。	1年後期	80	2			○		○		○	○
○			臨床実習Ⅱ Clinical PracticeⅡ	言語聴覚士が臨床現場で働く上で必要な知識・技術を実際に学び、習得する。	2年後期	400	10			○		○		○	○
○			国試対策（総合） Comprehensive Seminar for National Examination	言語聴覚士の国家資格合格を目指し、試験対策を行う。	2年後期	30	2	○			○		○	○	
合計				67科目	2295単位時間(133単位)										